

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援・放課後等デイサービス はねる				公表日	2026年3月6日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3		広いスペースがあるので、利用者がそれぞれ落ち着いて活動できる空間を整えています。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		3	指導員を増やそうと常に求人を出している。	指導員を基準配置人数以上に増やそうとしています が定着するのが難しく今後も指導員を増やすように採用は引き続き行っています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	1	2	毎月1回以上のミーティングを行い、PDCAに努めています。	新人職員や経験の浅い職員を中心に普段の会話から振り返りができる環境をつくっていきこうと考えています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		保護者様の貴重なご意見を全職員へ周知し励みにして努力を続けて行っています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3		日々の業務に追われて個々の意見を把握する機会が少ないが個々に改善点が見つければ発言しやすい環境にしようと心がけています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		3			今後、機会があれば検討していきたいです。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	3				全職員と意見交換ができる研修も増やしていきたいです。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3		ホームページに公表しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3				
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3		個別は担当制のため、お子様の様子を職員全体で共有しながら会議を行い計画書を整えています。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	3		個々に、前回の支援内容を共有して確認を行いながら支援を行っています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3				
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3				
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3		活動について職員全体で案を出し合いながら意見が偏らないようにプログラムを立てています。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3		毎月お子様たちの発達や様子に合わせて新しい活動を取り入れてお子様たちに喜んでもらえる内容を常に考えています。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	2	1	個別は担当者制なので各々担当する児童の支援内容を確認することになっています。集団活動では役割を決めてチーム連携を行っています。	業務が忙しく確認できないこともありますので、各々が責任を持ちながら全体で支援していく姿勢を心がけていきます。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	2	職員間で日常的に支援の様子について話をし、自然と共有し会話を重ねています。	支援終了後は、保護者様への連絡と支援内容の記載に時間がとられてなかなか話をする時間が取れないことが基本ですが、業務をしながら会話を続けて共有してまいります。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3		各関係機関と連携が必要な時には連携する体制でいます。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3		学校からの配布物や保護者様からの予定の確認を行い、トラブル時は直接電話で連絡確認するなどして対応をしています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。		3		まだそのような事例がありませんが、共有を要することがあれば連携していきたいです。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。		3		まだそのような事例がありませんが、今後共有を要するようになれば連携していきたいです。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		3		児童発達支援センターでの助言を受ける機会がありません。研修などはタイミングが合えば受けようと考えています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		交流の機会がなかなかありません。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		3		参加する機会がありません。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	3		連絡帳や送迎時にお子様の様子などお伝えさせていただいています。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	1	他の関係機関から研修の情報があれば連絡アプリで情報をお伝えしています。	事業所ではなかなかできるタイミングがありません。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	3			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3		事業所ではなかなかできるタイミングがありませんが、今後機会があれば保護者同士での交流の機会を設けるイベントなどを企画していきたいです。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3		ホームページのブログ、Instagramなどで日々の活動の様子を発信しています。連絡アプリでも支援の様子や連絡体制を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3		交流の機会がなかなかありません。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3		初回面談時に保護者様から聞き取りを行っています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3		食事提供はありませんが、おやつについて初回面談時に保護者様から聞き取りを行っています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3		毎日の業務日誌に少しでもヒヤリとしたことは記入し職員全体で共有して再発防止に取り組んでいます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3		
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			